

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	能力開発対策事業費	担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和36年度	担当課室	総務課	総務課長 土屋喜久			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	施策名	II-1-4 多様な職業能力開発の機会を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第7号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	職業能力開発局全体の事業を円滑に進めること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当該事業については、職業能力開発局全体の事務費であり、本省職員等が消費する物品等に係る経費である。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	61	57	48	43	41
		補正予算					
		繰越し等		▲ 17			
	計	61	40	48	43	41	
	執行額	53	34	39			
執行率 (%)	86.9%	85.0%	81.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該経費は、職業能力開発行政を円滑に遂行するための経費であるが、その内容は、業務に必要な冊子の印刷、職員の出張旅費等であるため、成果指標を示すことはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該経費は、職業能力開発行政を円滑に遂行するための経費であるが、その内容は、業務に必要な冊子の印刷、職員の出張旅費等であるため、成果指標を示すことはできない。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
			-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	(目)諸謝金	0.8	0.7	消耗品費等の減			
	(目)職員旅費	0.2	0.2				
	(目)委員等旅費	0.4	0.4				
	(目)庁費	41.7	39.2				
	計	43.0	40.5				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	行政事務を遂行するために必要な事務的経費であり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	行政事務を遂行するための事業であり、国が直接実施すべきものである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	事務用品等に係る支出が見込みより少なかったために、不用が出たものである。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額のため予算決算及び会計令99条により随意契約により調達している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	行政事務を遂行するための経費として、真に必要な経費の支出のみを行っている。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行実績を踏まえ、消耗品、印刷物の数量の見直し等により引き続き予算額の削減を行っていく。 また、局内の業務改善等の実施により、引き続き事務費等の節減を行うこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業については、事業実績を勘案・検証した上で、効果的、効率的な事業運営に努めながら、執行状況を予算要求に反映していくこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>執行状況を踏まえ、要求額を縮減した。(反映額:3百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			

※平成23年度実績を記入

【厚生労働省】
39百万円

【少額随意契約】

A.印刷製本
3社 2百万円

〔各種資料の印刷を外部業者に委託〕

B.事務費
37百万円

〔職員旅費、委員等旅費、
諸謝金、庁費(賃金、消耗品費等)〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(有)正陽印刷			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	印刷製本に係る費用	2			
計		2	計		0
B.事務費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金等	事務補佐員の賃金等	37			
計		37	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)正陽印刷	印刷物の印刷 2件	1	随意契約	-
2	(株)大和プリント	印刷物の印刷 1件	0.9	随意契約	-
3	永和印刷(株)	印刷物の印刷 1件	0.2	随意契約	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					